

平成27年6月15日

平成27年度総会にあたり

特定非営利活動法人 ポラーノ
理事長 松村 公市

26年度決算におきましては過去最低の決算となりましたが、26年度で新規事業として開設した障害者就労継続支援B型事業所への投資が大きく作用しての結果と考えています。

この事業も、開設わずか一年で就労者が12名も登録してくれる施設となり、今年度も新規登録者10名程度が見込めるところまで来ました。経営計画通り順調に推移しているところで27年度は、採算ベースに乗る予定となっています。

その他の事業ではドラワン塾の経営が移転による経費増による不採算事業となりましたが、施設投資が少ない27年度は順調に経営できるものと考えています。

26年度は、指定管理事業による利益目標を達成してくれたことで新規事業への投資が負担となりましたが、黒字の決算を終えられた事はポラーノに関わる全ての方々のご協力と努力のたまものと感謝いたします。

27年度は、ポラーノが指定を受けている重要施設である「広島県立びんご運動公園」「東広島運動公園」の指定管理者公募を秋に控え、最後の努力をしているところです。

今年度の最重要目標は、この両施設に加え、三原運動公園の再指定に向けての努力も欠かせないところに来ています。

「スポーツの力で地域を元気にする」というポラーノの使命を果たすには、現在の指定管理施設の再指定を受けなければ使命を果たす基地を失う事となり、ポラーノの地域社会への貢献も厳しい状況に追い込まれることとなります。まだまだポラーノが果たす役割は大きく、経営を安定させながら使命を果たすには、指定管理施設の再指定は欠かせないのが現実です。ポラーノの全理事・職員・関連団体と共に全力を尽くして再指定を目指しますが、会員の皆様にも全力での応援に期待をしているところです。

今年度再指定を受けられれば、昨年度から参入した福祉事業への投資を加速し、指定管理事業だけに頼る経営ではなく、指定管理事業を柱にしながら福祉事業を充実させ、経営の安定を図れる事となります。来年度からの5年間で、指定管理事業をより充実させるだけでなく、福祉事業の充実を目指した投資を行うことで、ポラーノの使命を永続的に果たせる環境を作ることができると考えています。社会環境が激しく変化する事も予測しながら経営する事となりますが、一般企業に比べれば相当にリスクの少ない経営環境となることは間違いなく、社会が必要とするポラーノの存在感を尚一層発揮する事になると確信しています。

今年度がポラーノの本当の意味での正念場であり、より大きな社会貢献ができるチャンスが来たことを楽しんで結果を出したいと思います。

今年度も、なお一層のご支援、ご協力をお願い致します。